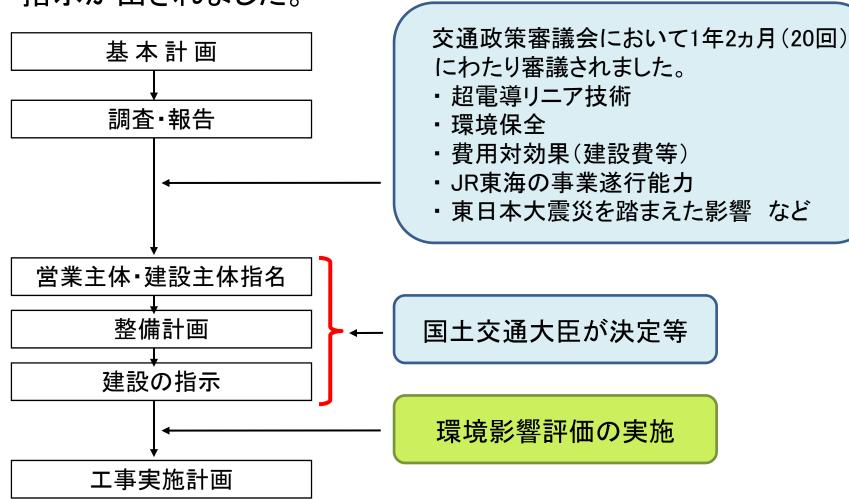
全国新幹線鉄道整備法に基づき計画を推進

・平成23年5月、国土交通大臣より当社に中央新幹線の建設 指示が出されました。

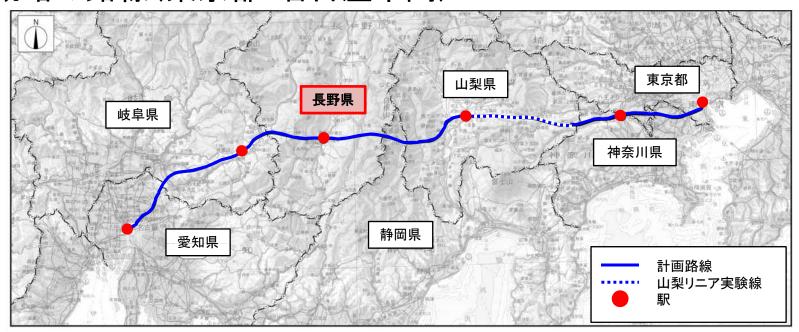


超電導リニアによる中央新幹線計画

•整備計画の内容

建設線	中央新幹線	
区間	東京都・大阪市	
走行方式	超電導磁気浮上方式	
最高設計速度	505キロメー	トル/時
建設に要する費用の概算額(車両費を含む)	90,300億円	
その他必要事項		甲府市附近、赤石山脈(南アルプス)中南部、 名古屋市附近、奈良市附近

・概略の路線(東京都・名古屋市間)



路線・駅位置の絞り込み①

○路線の絞り込み

- 1) 超電導リニアの技術的制約条件等
 - ・概略の路線内において、超電導リニアの超高速性を踏まえ、 できる限り短い距離で結ぶことを基本としました。
 - ・主要線形条件として、最小曲線半径は8,000m、最急勾配は40%で計画しました。

2) 地形・地質等の制約条件

- 活断層は回避もしくは通過延長をできる限り短くし、近接して 並行することは避けて計画しました。
- ・トンネル坑口はできる限り地形、地質的に安定した箇所を選定しました。南アルプスのトンネル土被りはできる限り 小さくすることを基本としました。
- ・地上部で交差する主要河川は、60度以上の交差角とする ことを基本としました。

路線・駅位置の絞り込み②

3)環境要素等による制約条件

- ・生活環境、自然環境、水環境、土壌環境、文化財等への 影響をできる限り回避又は低減しました。
- 市街化、住宅地化が進展している地域をできる限り回避しました。
- 自然環境保全の面から、自然公園区域等を回避する、 もしくはやむを得ず通過する場合でもトンネル構造とする などできる限り配慮しました。

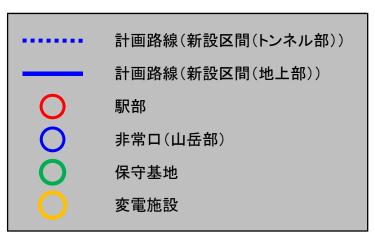
○駅位置の絞り込み

選定した路線上において、技術的に設置可能であること、 利便性が確保されること、環境への影響が少ないことに ついて検討し、計画しました。

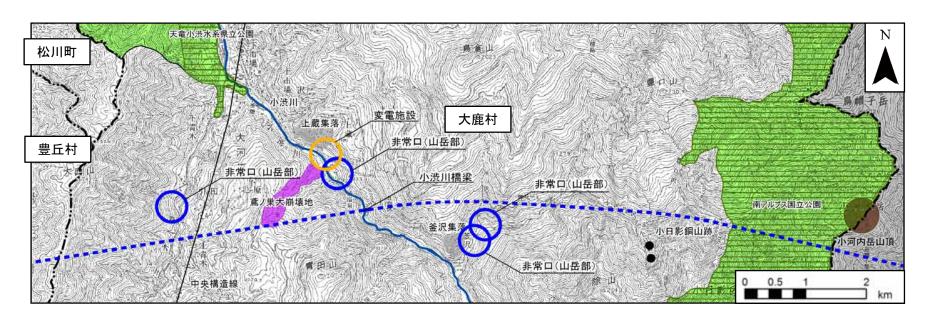
長野県の路線概要

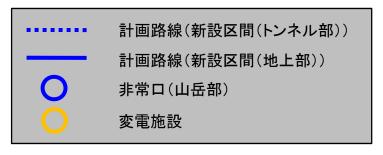
•地上部4.4km、トンネル部48.5kmの路線計画です。

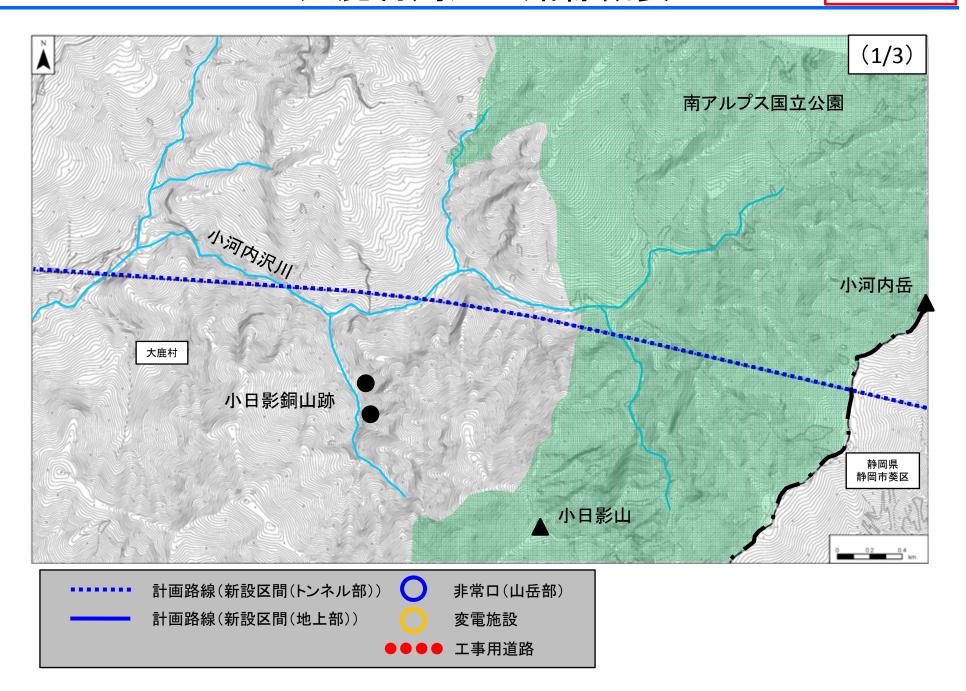


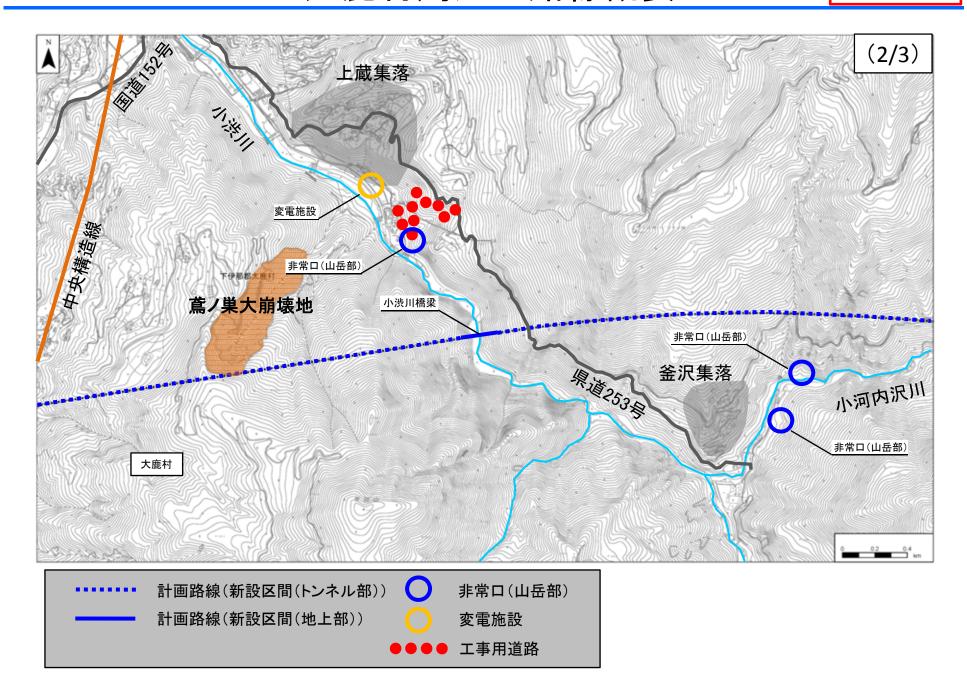


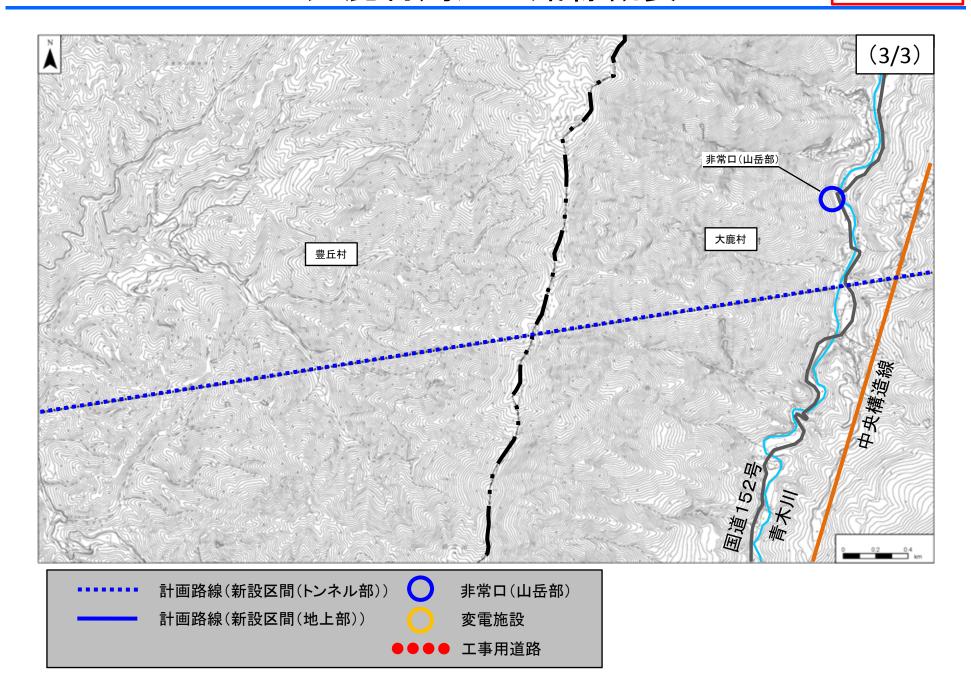
- ・大鹿村の通過延長約13kmは、ほとんどがトンネルとなります。
- •小渋川を橋梁で渡河します。
- ・大河原地区の小渋川右岸に変電施設を計画します。



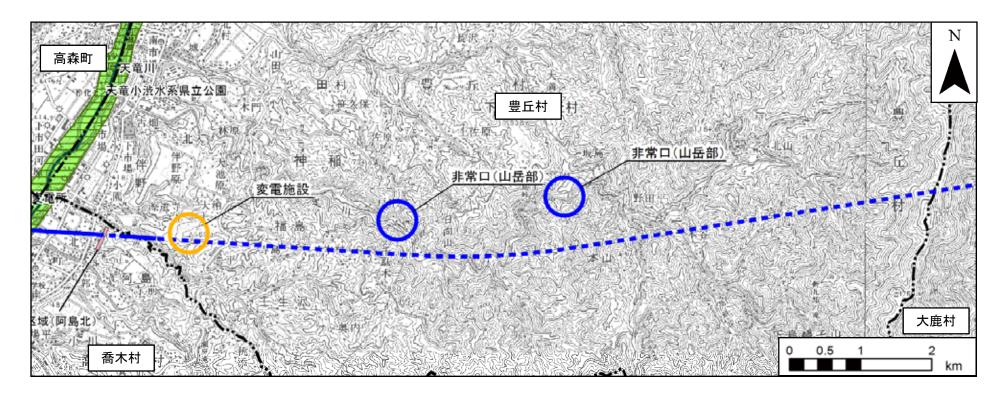


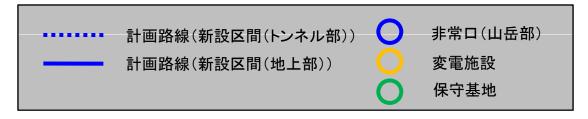


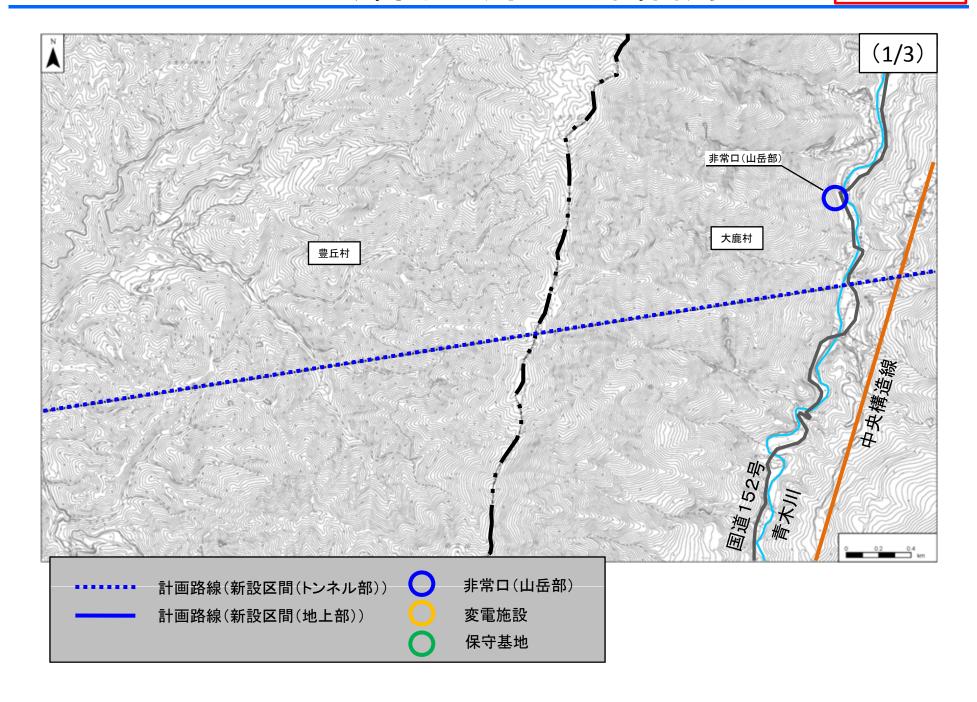


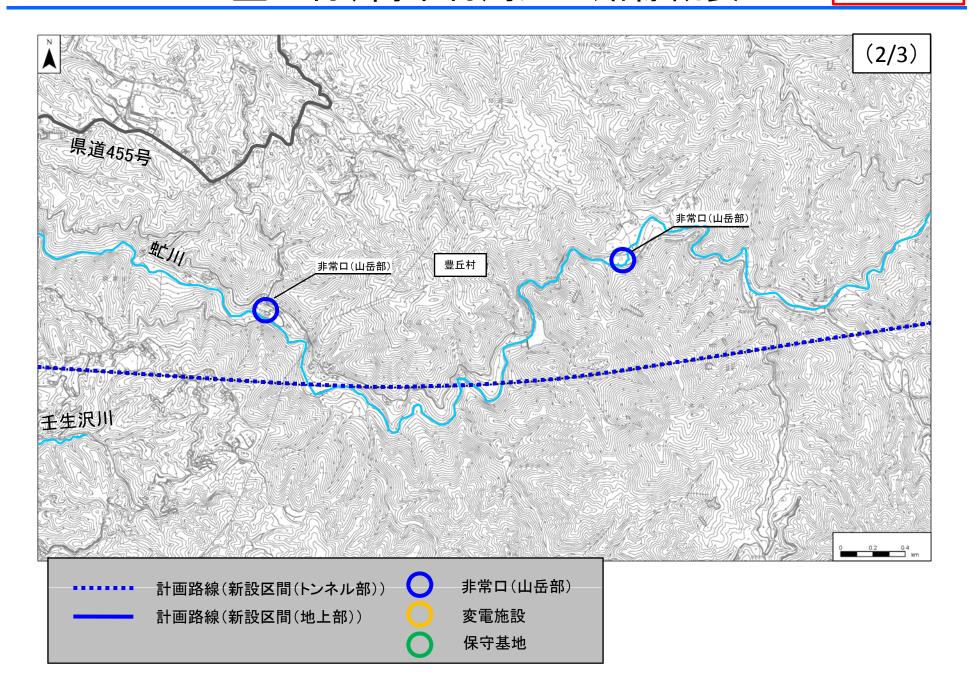


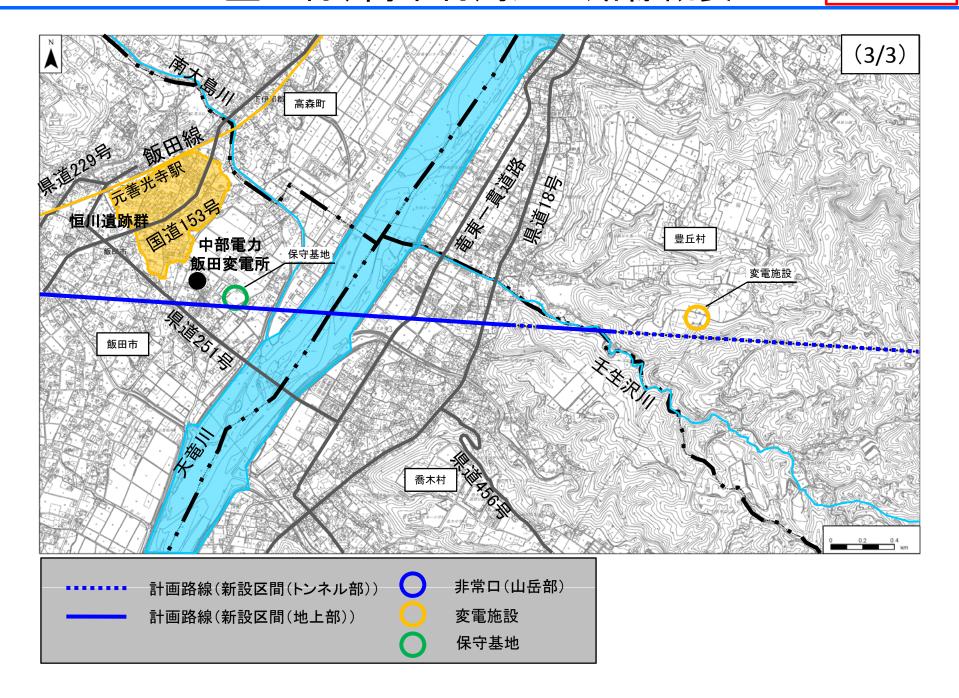
- ・豊丘村の通過延長約10kmは、ほとんどがトンネルとなります。
- ・喬木村の通過延長約2kmは、ほとんどが地上となります。
- •神稲地区に変電施設を計画します。



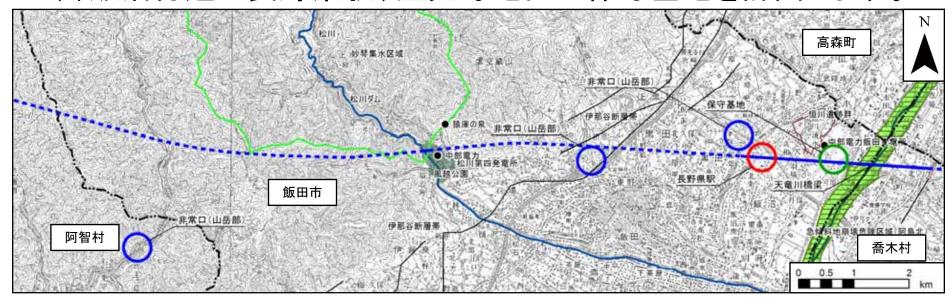


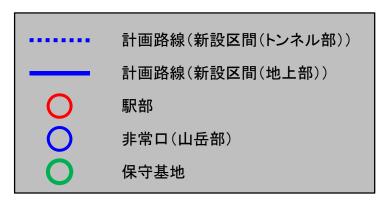


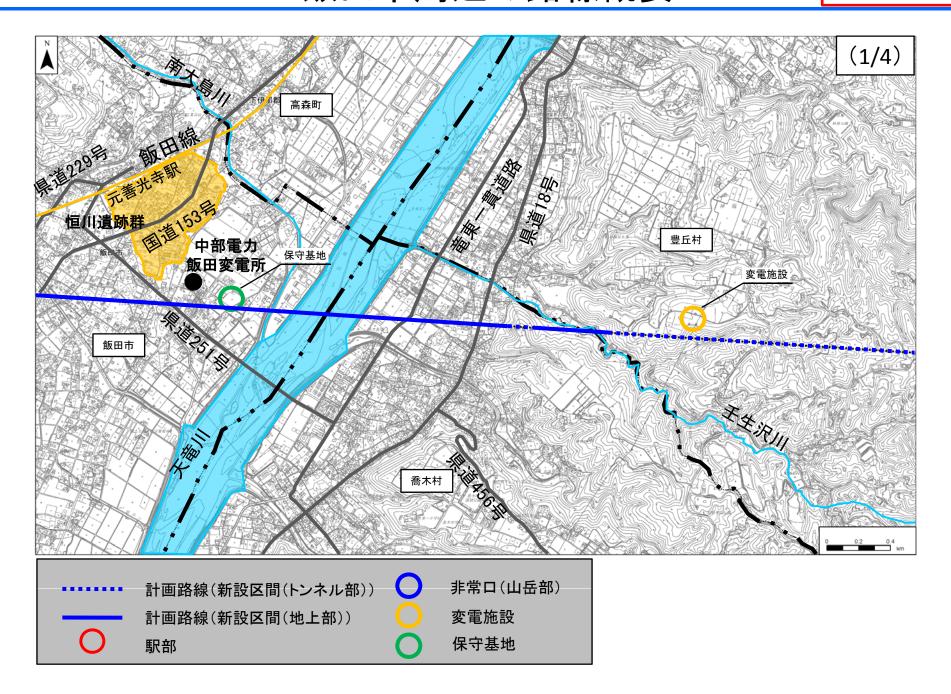


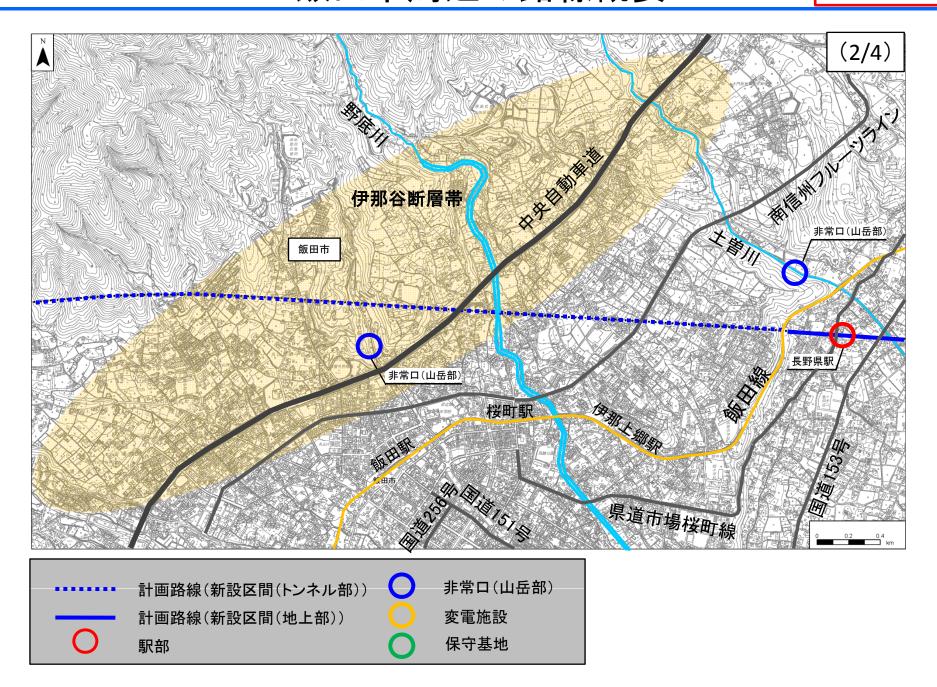


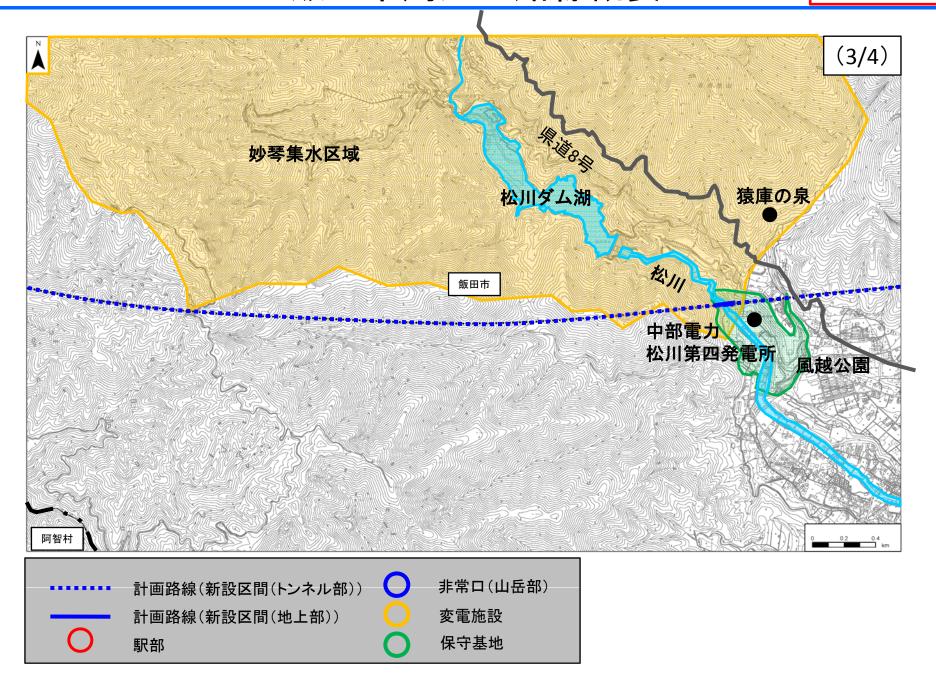
- ・飯田市の通過延長約15km のうち、約80%がトンネル、天竜川から駅部付近及び松川を渡河する橋梁が地上となります。
- ・上郷飯沼付近に長野県駅、座光寺地区に保守基地を計画します。

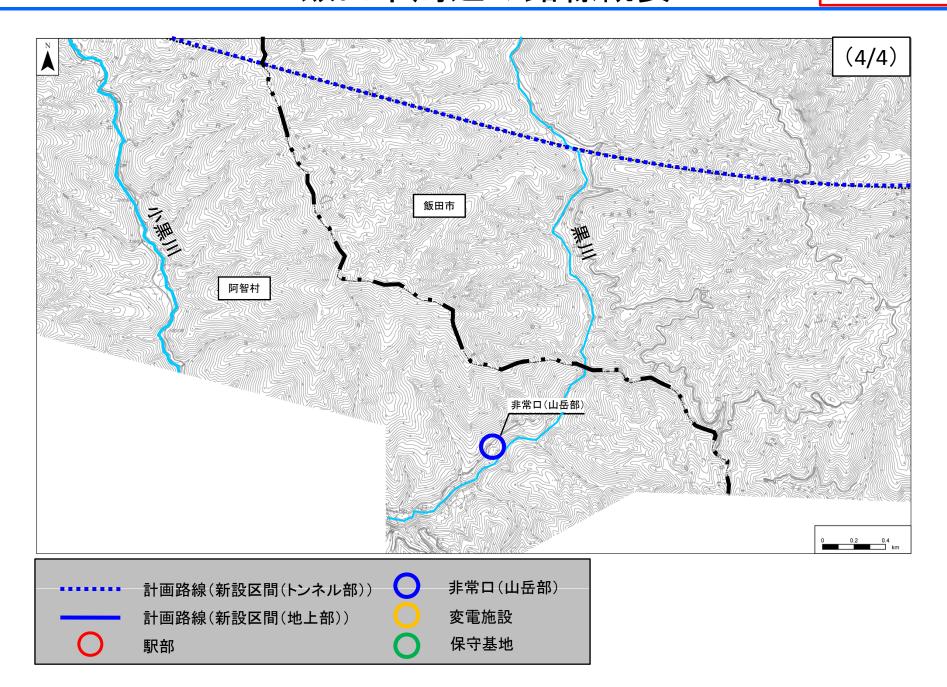




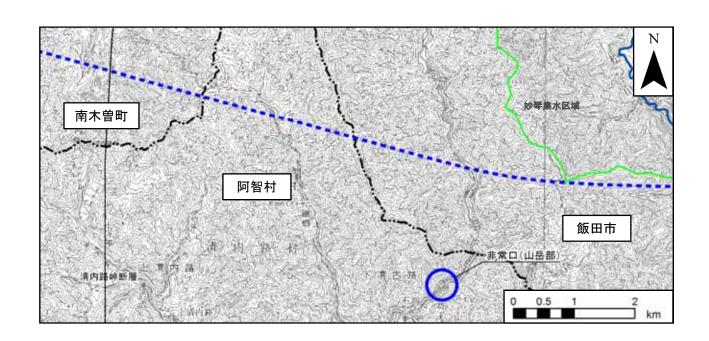


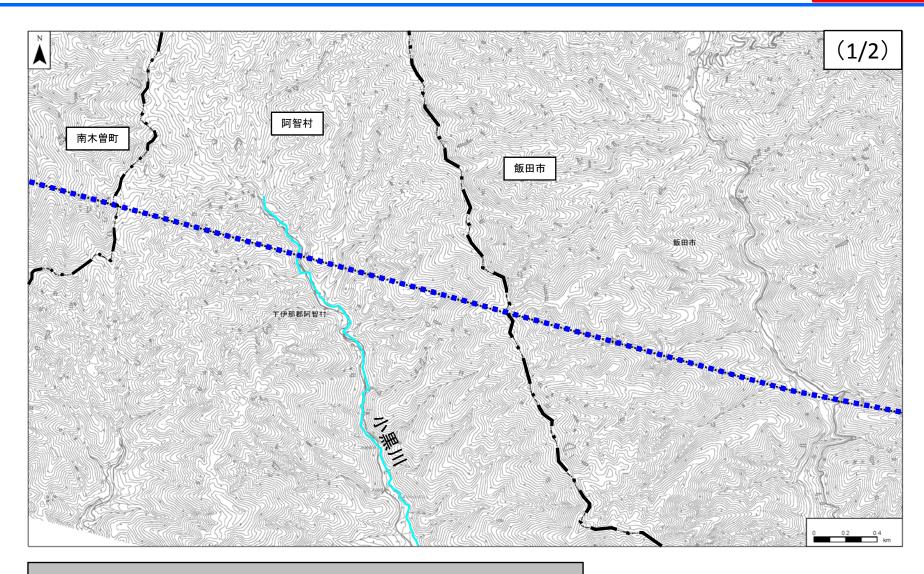






•阿智村の通過延長約3km すべてがトンネルです。

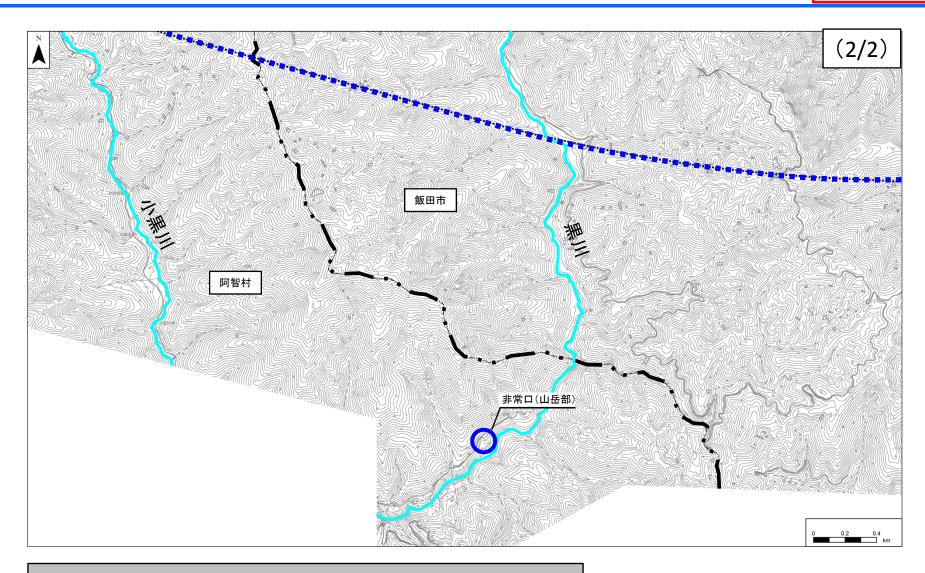




計画路線(新設区間(トンネル部))

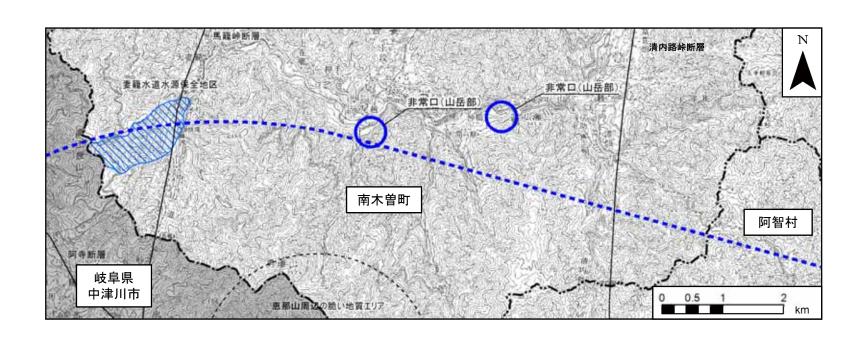


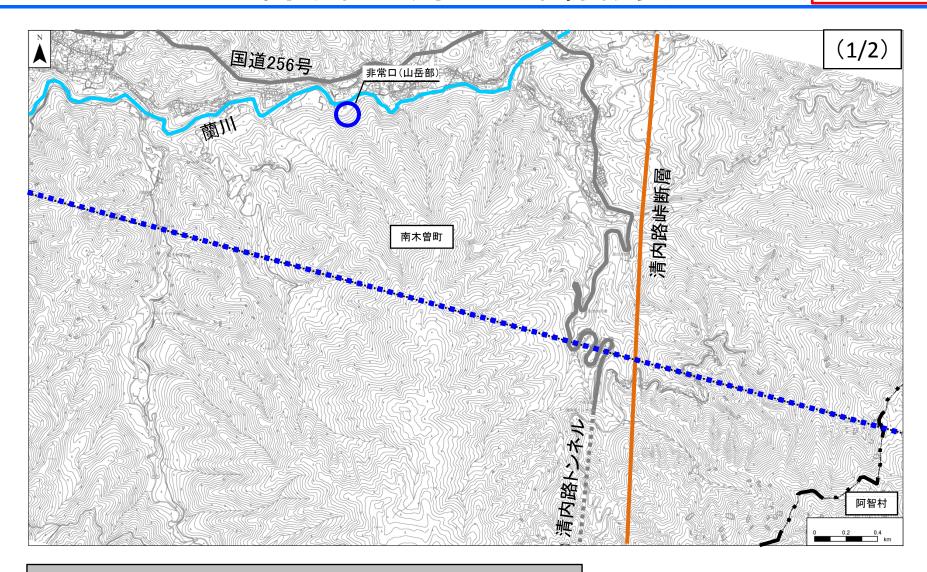
非常口(山岳部)



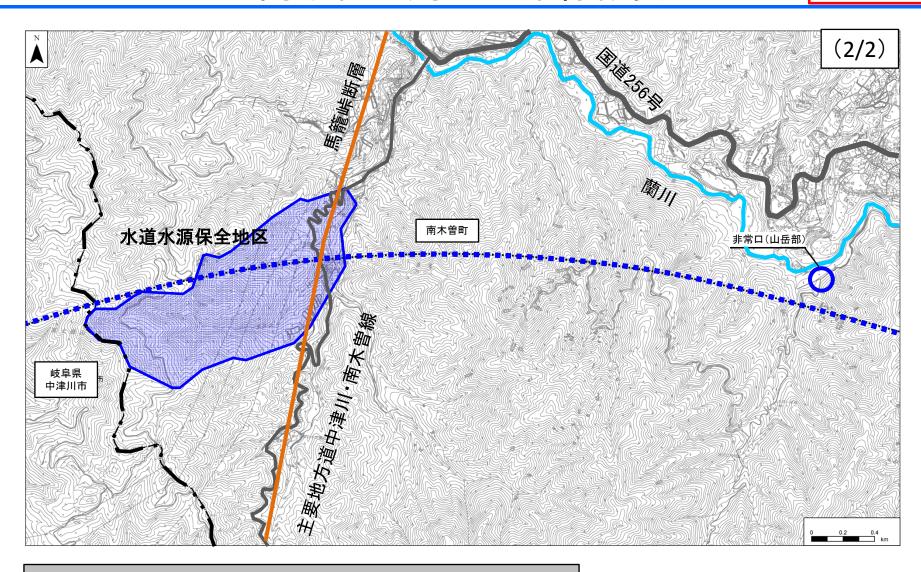
非常口(山岳部) 非常口(山岳部)

・南木曽町の通過延長約10km すべてがトンネルです。





非常口(山岳部) 非常口(山岳部)



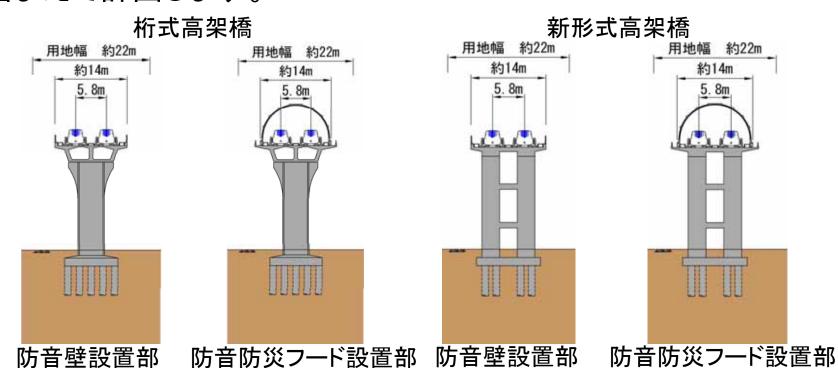
非常口(山岳部) 非常口(山岳部)

長野県内の構造種別と主要な施設

種別	数量
地上部	4. 4km
トンネル	48. 5km
駅	1箇所
変電施設	2箇所
保守基地	1箇所
非常口(山岳部)	11箇所

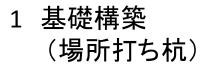
高架橋・橋梁の概要

- •構造物の幅は約14m、用地幅は、両側に緩衝帯として約4mを確保して約22mを計画しています。
- ・桁式高架橋と新形式高架橋は、交差条件及び高さに応じて設置 箇所を設定します。
- •道路等と交差する橋梁は、地形等を考慮した構造を設定します。
- 環境対策工(防音壁、防音防災フード)は、周辺の土地利用状況を 踏まえて計画します。

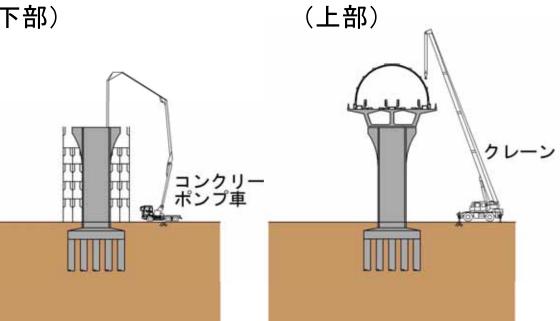


高架橋・橋梁の施工概要

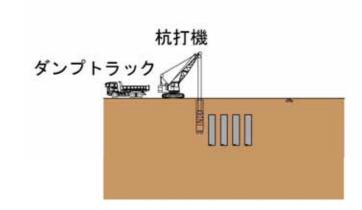
- ・橋脚を支える場所打ち杭等の基礎、橋脚の躯体コンクリートを 打設し、桁を架ける工法、あるいは、場所打ち工法により施工 します。
- ・工事の実施にあたり、工事施工ヤード等を設けます。
- ・工事施工ヤードの幅として22m(線路中心から片側11m)を標準に 考えています。



2 躯体構築 (下部)

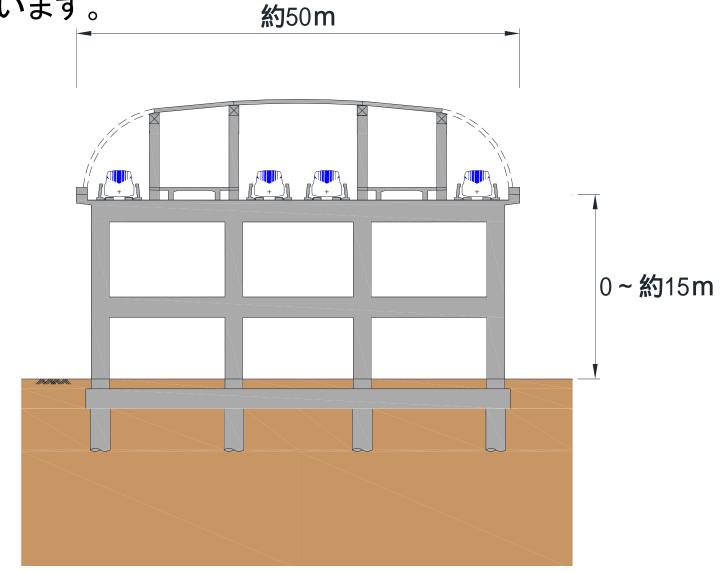


3 躯体構築



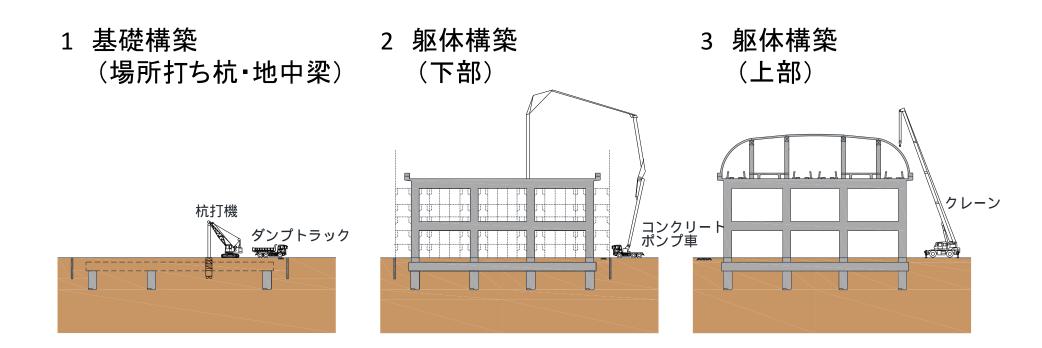
長野県駅の概要

敷地として延長約1km、最大幅約50m、面積約3.5haを 想定しています。 約50m



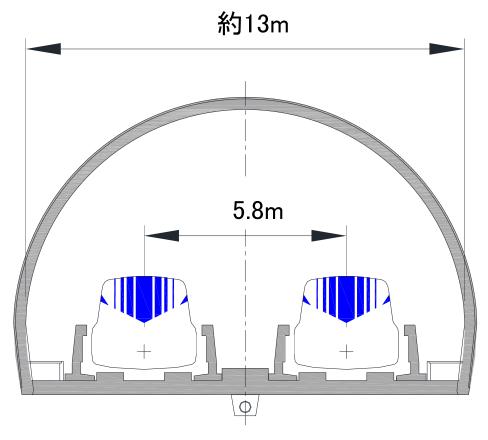
長野県駅の施工概要

・高架構造で、基礎、柱、床版を、主に鉄筋コンクリートにより 施工します。



山岳トンネルの概要

- ・本線の軌道中心間隔は5.8mであり、構造物の幅は約13mです。
- •トンネルの内空有効断面積は、約74m²です。



山岳トンネルの標準的な断面図

非常口(山岳部)の概要

1. 非常口掘削



2. 本坑掘削

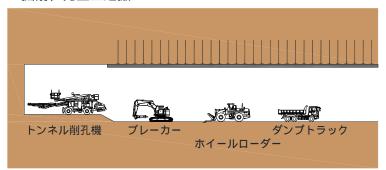


- ・山岳トンネルの施工に際して、非常口 を掘削して本坑に掘り進めます。
- ・非常口には工事施工ヤードを設けま す。
- ・工事施工ヤードの周囲には工事用のフェンスを設置するとともに、発生土の仮置き、濁水処理設備の設置等を予定しています。
- ・長野県には11箇所設置します。

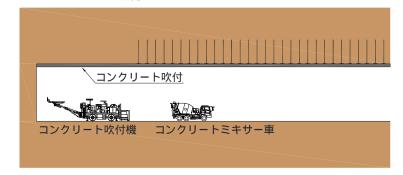
市町村名	非常口(山岳部)数量
大鹿村	4箇所
豊丘村	2箇所
喬木村	O箇所
飯田市	2箇所
阿智村	1箇所
南木曽町	2箇所

山岳トンネルの施工概要

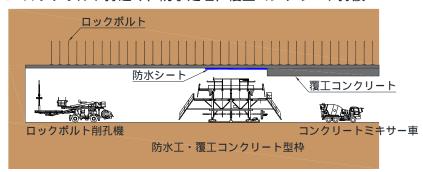
- ・山岳トンネルでは主にNATM(ナトム)工法を採用する計画です。
- •NATM工法では、トンネル周辺の地山の持つ支保力を利用して、安全にトンネルを掘削することが可能です。
- ・南アルプスのトンネルについては、掘削時の地質把握のために、 本坑に並行な位置に先行して断面の小さい先進坑を掘削します。
- 1 掘削、発生土運搬



2 コンクリート吹付

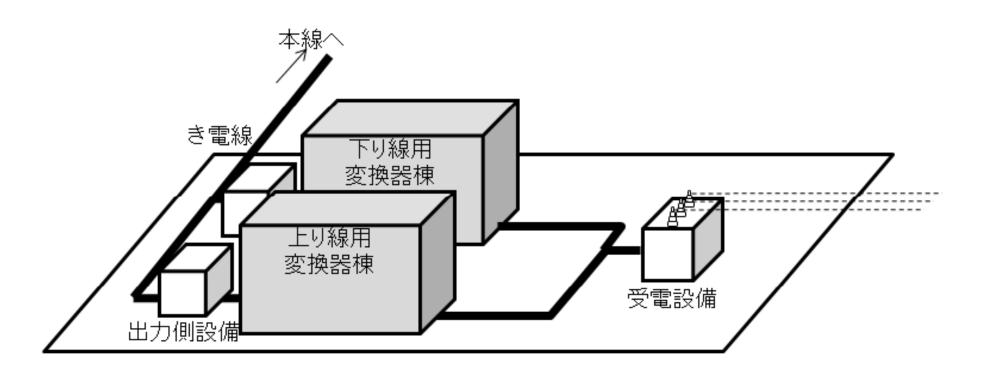


3 ロックボルト打込み、防水処理、覆エコンクリート打設



変電施設の概要

- 路線沿線に20~40km 程度の間隔で設置します。
- ・敷地面積は、約3haを想定しています。
- ・変電施設は、大鹿村大河原付近及び豊丘村神稲付近に設置 します。



保守基地の概要

- ・路線沿線に50km 程度の間隔で設置します。
- ・敷地面積は、約3haを想定しています。
- •保守基地は、飯田市座光寺付近に設置します。

